

システム 海外販路開拓

ブレイン まずドバイに会計用

システム開発のブレイン

(兵庫県西脇市)は海外向け販路を開拓する。

まずはドバイの現地資本が運営するベーカリーに、画像認識を使った精算システムを5月にも納入する。同社が自社製品を海外で販売するのは初めて。世界から注目されているドバイで商品力を発信し、米国市場なども

開拓する方針だ。

ドバイの資産家が展開するパン店「ヤマノテアトリエ」に独自開発の精算システム「ベーカリースキャン」を納入する。同店は日本風の焼きたてパンの製造・販売店としてドバイで多店舗化する予定で、ブレインは1店舗につき2システム以上を納入する計画だ。

ベーカリースキャンは

トレー上にある複数のパンを画像として1度に読み取り、データベースと照合して瞬時に精算する。焼きたてパンはバーコードを添付できないため、販売員が100品種にも及ぶ商品をすべて覚える必要がある。同システムを使えばレジ入力作業を効率化できる。

国内ではドンク(神戸市)の一部店舗やオークワのベーカリーコーナーなどで導入されている。ブレインは導入から一定期間、ドバイに社員を派

遣。システムの遠隔監視などサポート体制も整える。ドバイでの販売状況などをみながら、米国など海外市場への売り込みを本格化する。